

秋
Autumn

銀杏



大銀杏 稲毛神社
獲齡一千年といわれる大木。戦火で受けた損傷から力強く復活を果たし、現在もなお人々からの篤い信仰を集めています。



市役所通りの銀杏並木
11月下旬～12月



菊
(稲毛公園 川崎菊花大会)
昭和27年(1957)より行われている、川崎市最大の由緒ある菊花展。



河津桜
2月下旬～3月初旬
(浮島町公園)



染井吉野桜
4月初旬 桜川公園



ツツジ
4月中旬 潘秀園



長十郎梨の花
4月
区の木「長十郎梨」の花をみんなで咲かせようと平成25年3月、市民団体と地域の子も達が長十郎梨の接ぎ木苗を作り、市民に配布しました。



染井吉野桜
4月初旬 多摩川土手 殿町
県内有数の野鳥観察スポットとしても有名な大師河原。この防波堤沿いがあり、春には大勢の花見客で賑わいを見せるのが大師河原桜並木です。区民のみなさまに愛された景観は桜の名所として全国にファンがいます。

冬
Winter

花と木でみる川崎区の春夏秋冬

平 成24年4月、区の花・区の木が制定されました。制定後の初めての夏、区の花「ひまわり」が様々なところで元気に咲きそろいました。その一つ富士見公園では、花壇に立てられた「ひまわり通り」の立て札とおしり、通り沿いにひまわりが咲き並び、行き交う人々を元気にしてくれました。もう一つの区の花「ビオラ」は寒さに強く、可憐な花で秋から冬の花壇を彩ります。川崎駅前広場をはじめ、あちこちの花壇で見ることができます。区の木「銀杏」は、秋には市役所通りの並木が特に素敵です。もう一つの区の木「長十郎梨」は大師河原が発祥の地とされています。川崎区と市民団体が協働で「長十郎梨」の木を広めていく取り組みを行っています。何年か後の春、区内のあちこちで再び梨の白い花を見ることができると良いでしょう。川崎区ではいろいろな場所で、いろいろな花や緑を楽しむことができます。普段何気なく通り過ぎていた道路や公園に、少しだけ目を向けてみてください。春は桜、夏はひまわり、秋は金色に輝く銀杏、冬から春はビオラやスイセンの花などが、皆さんの目にとまり、心を豊かにしてくれることでしょう。



かわさきガーデナー
代表 藤代さん



スイセン 1月～2月
(浮島町公園)



ビオラ 11月～4月
川崎駅前広場の花壇「ハーモニオン」



小豆公園



富士見公園

ひまわり 7月～8月

市民の方々が区内各所の公園でひまわりの花を育てています。



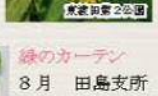
富士見公園



大前公園



実加公園



東武東横線2公園



ハスの花 潘秀園
7月中旬～8月中旬
(潘秀園)

緑のカーテン
8月 田島支所
支所、子育て支援センターむかい、保育園等で、つる性植物による緑のカーテンに取組んでいます。

夏
Summer